



SUNMI決済端末のバッテリーを長持ちさせるために

以下の使用方法を守って端末をご利用ください。

充電はバッテリー残量が20%以下になってから

バッテリーが充分にある状態で充電をすることは、バッテリーに負荷をかけ、劣化を早めてしまいます。

バッテリー残量が20%を下回ってから充電をお願いします。

端末を充電しながらの利用はしない

充電をしながら端末を利用することは、バッテリーに負荷をかけ、劣化を早めてしまいます。

場合によって発熱する場合がありますので、ご注意ください。

上記の通り、バッテリー残量が20%を下回ってから充電してください。

端末へ強い衝撃を与えない

端末を固いものにぶついたり、踏みつけたり、落下させたりすると破損する恐れがあります。

強い衝撃が加わったり変形したりして破損しますと、バッテリーが発熱、発煙等をする可能性があります。

火気の近くに置いたり、水濡れした端末を利用しない

端末を火器の近く（コンロや熱した鉄板の近く等）に置くことは、端末に過度な熱が加わり、バッテリーが発熱、発煙、発火等の原因となります。

水濡れした端末を使用すると、内部回路がショートしてしまいます。

水濡れした場合は、電源を起動せず、端末の利用をお控えください。

端末を充電せずに長期間放置しない

リチウムイオンバッテリーの特性上、長期間充電せずに放置しますと、過放電の状態となり大きな負荷がかかります。

保管時に十分に充電されていても、自然放電によって充電は少なくなります。

長期間保管しておく場合は、定期的に起動確認や充電を行う等メンテナンスをお願いします。